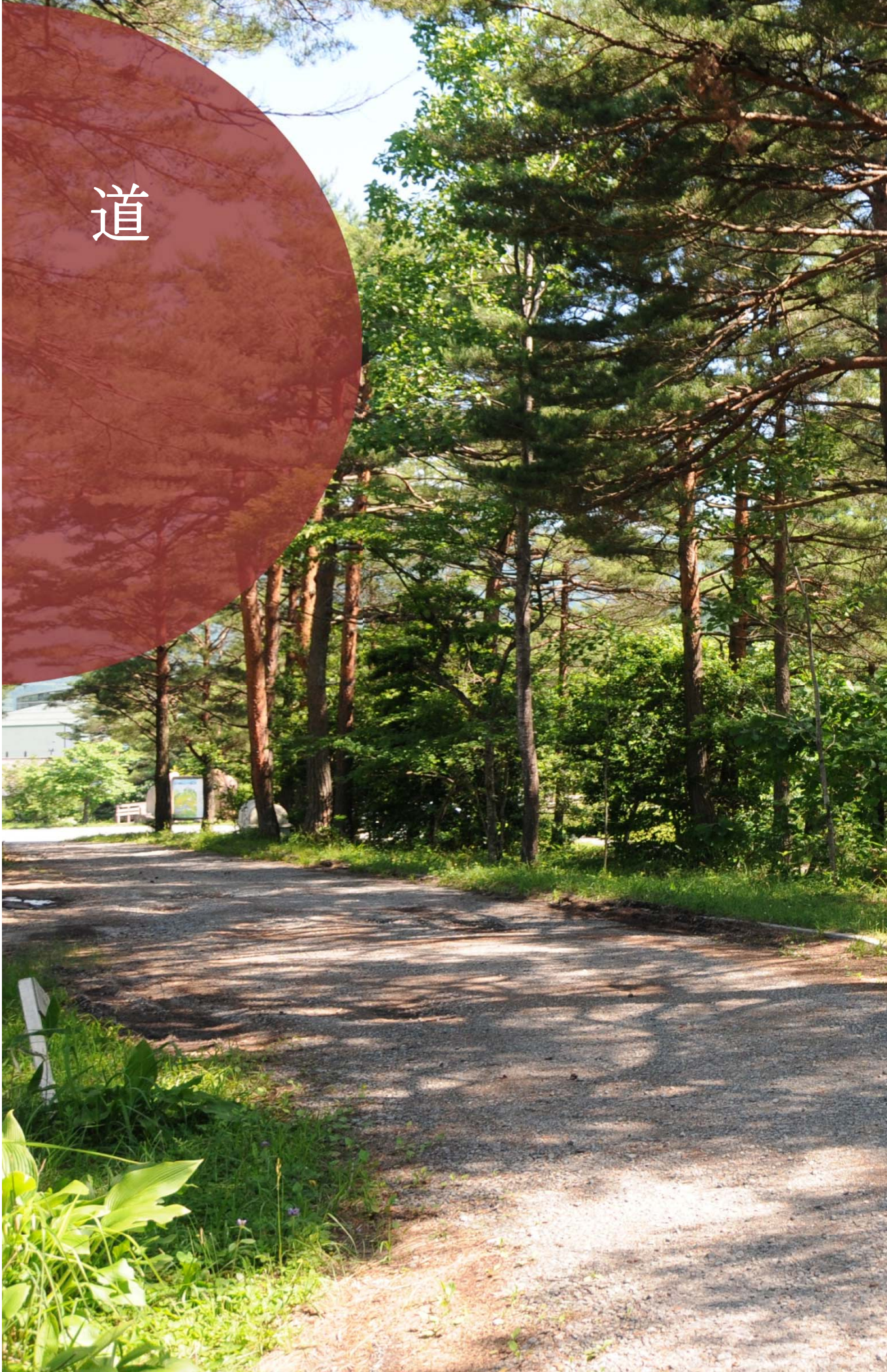


道



## 位山古道

くらいやまこどう



萩原町山之口から位山峠を超えて宮村へ出る位山街道のことを、往古都に工匠として召され奉仕した飛驒の匠たちの通った道として、その哀歎に思いを込めて「位山古道」と呼んでいます。

### (1) 位山古道の整備



位山古道は、東山道飛驒支路として敷設され、現代に至る道です。東山道飛驒支路は美濃の方県駅で「東山道」から分かれて飛驒支路になります。今も所々に残っている石畳の街道は、都から飛驒へと文化をつたえ、飛驒の文化をはぐくみ育てた道です。石畳は、平安時代頃のものだと推定しています。

(2) 位山古道の地図



飛驒支路については、『続日本紀』に宝亀7年(776)に下留駅を開設したという記事があり、この頃には既に整備されていたと考えられます。



引用: 高山市教育委員会

### (3) 位山匠の道



日本の古代の道路が国の制度の中にはっきり位置づけられたのは、大宝元年(701)に制定された「大宝律令」という法律ができたときです。当時の東山道飛驒支路である位山古道の道筋は、現在の国道41号線ではなく、宮地域から苅安峠、位山峠を越え上呂へ抜ける道であったと考えられます。



#### 動画: 位山古道 (インタビュー「山腰曠氏」: 飛驒一之宮)

0:19min



位山古道の歴史について、山腰曠氏へのインタビューから学べます。位山古道は、ほぼ直線の道なので、今では、補整されているなどで少ししか残っていませんが、石畳の道を地域の人だけではなく、京都へと続く道として、古くから多くの人が利用していました。今現在でも一之宮の人たちに親しまれています。

URL [http://hkl.gijodai.ac.jp/material\\_jyugyo.html](http://hkl.gijodai.ac.jp/material_jyugyo.html)



## 動画:位山古道の風景 (自然)

1:05min



位山古道の様子を学べます。今では補正されたコンクリート道路の場所もありますが、昔の人も歩いていた石畳もきちんと残されています。昔の人も今と同じような景色を見ながら、この道を歩いていたかもしれません。この風景はこれからも大切にされて、伝えられていくことでしょう。

URL [http://hkl.gijodai.ac.jp/material\\_jyugyo.html](http://hkl.gijodai.ac.jp/material_jyugyo.html)



JR

じえいあーる



明治以来の飛騨の強い願いであった岐阜と富山を結ぶ高山本線は昭和9年によりやく全線開通しました。このことにより、飛騨はこれまでの牛馬車から大量輸送機関を得ることができました。この高山線の全通は、太平洋と日本海を結ぶ最短、最安ルートとなり、中部縦断の時間と距離、金銭を短縮する大きな意味をもっていました。

## 国道41号線

こくどうよんじゅういちごうせん

国道41号線は、名古屋市から富山市に至る一般国道で、JR高山線及び国道158号線とともに、飛騨地方の交通体系の重要な路線です。また、国道41号線は、ぶり街道、ノーベル街道と呼ばれることがあります。

### (1) 宮 峠



宮峠は、峠の南方斜面は緩やかですが、北側は急な斜面です。この峠を通る交通路は、天正(1573-1592)の末ごろ藩主であった金森長近によって開かれ、長い間、峠から北へ降りる道は、ふもとの水無神社まで直線的な急坂でした。しかし、明治以後改修され、昭和28年に2級国道155号線として発足し、昭和40年には一般国道となりました。

### (2) 宮トンネル



宮峠は、飛騨の分水嶺の鞍部(あんぶ)にあり、交通の難所です。そこで、鉄道は宮トンネルで、久々野町と一之宮町を結んでいます。高山線で最長の2080mあります。国道41号線の宮峠トンネルは、宮高山バイパスと合わせて、平成15年度事業化された地域高規格道路「高山下呂連絡道路」の一部として指定されています。